

病院データ



住所	〒070-8610 旭川市金星町1丁目1番65号
URL	https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/hospital/index.html
連絡先(窓口)	教育研修課 0166-24-3181 (代表) 内線5468・5474 h_kenshu@ach.hokkaido.jp
病床数	481床
専門研修指導医数	2人
臨床研修指導医数	33人
外来患者数	856人/日※令和4年度(2022年度)実績
入院患者数	225人/日※令和4年度(2022年度)実績
標榜科	内科 外科 耳鼻咽喉科 産婦人科 小児科 皮膚科 眼科 整形外科 精神科 放射線科 泌尿器科 麻酔科 神経内科 呼吸器内科 消化器内科 循環器内科 血液内科 糖尿病・代謝内科 腎臓内科 心臓血管外科 呼吸器外科 消化器外科 乳腺外科 病理診断科 歯科口腔外科
給与(月額)	43万円
処遇	身分(常勤職員)、諸手当(有)、保険(社保、厚生、雇用、労災、医療賠償)、宿舎(有)
サブスペシャリティ	家庭医療専門医、病院総合診療専門医

市立旭川病院総合診療専門研修プログラム

3年コースの他、家庭医療専門研修プログラムと連動した4年コースにアレンジが可能です。日常診療でも密接な関係にある旭川市内および近郊の医療機関との連携により、同じ医療圏内から多面的な視点で地域のニーズを把握するという、総合診療医にとって欠かせない視野の広さを涵養します。

(連携施設)

【大学病院】旭川医科大学病院 【病院】国立病院機構旭川医療センター／北海道立羽幌病院

【診療所】国民健康保険東川町立診療所／国民健康保険上川医療センター／北星ファミリークリニック

院長から

近年の総合診療医育成に対する社会の期待に応えるべく、当院では鈴木 聡科長を中心に「市立旭川病院総合診療専門研修プログラム」を実践・改良してまいりました。臓器別専門医の狭い概念にとらわれることなく、全人的な観点からの幅広い診療能力を有する総合診療医は今後ますます重要になるものと考えます。複雑な現代社会から必要とされるGeneralistの育成に向けて、全院のスタッフ一同、皆様の充実した研修生活を全力でサポート致します。



院長 石井 良直

プログラム統括責任者から

子供から大人まで幅広い年齢層を対象とし、複数の領域にまたがる健康問題を同時に扱い、身体的な問題だけでなく心理社会的な問題にも、院内・院外を問わず専門科や他職種と連携をとりながら問題解決を主導する、それが総合診療医です。医療の世界は深遠で、時代を追うごとに新しい知識が求められ、到底極めることはできませんが、だからこそ生涯を通じて成長し続けることができるのです。私たちと一緒に、ここ旭川で今の時代に求められる総合診療医として活躍しませんか？



プログラム統括責任者
鈴木 聡





ローテーション例

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 年 目	施設名	市立旭川病院											
	領域	総合内科（総診Ⅱ）						内科					
2 年 目	施設名	市立旭川病院			旭川医科大学病院			東川町立診療所					
	領域	小児科			救急科			総診Ⅰ					
3 年 目	施設名	市立旭川病院											
	領域	内科						総合内科（総診Ⅱ）					

ローテーションは、総合診療専門研修を当院総合内科での総合診療Ⅱを6～12ヶ月、東川町立診療所、上川医療センター、北星ファミリークリニックおよび北海道立羽幌病院にて総合診療Ⅰを6～12ヶ月の合計18～24ヶ月行います。必須領域研修は当院および旭川医療センターにて内科12ヶ月、当院小児科3ヶ月、旭川医科大学病院救急科3ヶ月を行います。その他の領域研修として当院皮膚科、耳鼻咽喉科なども希望に合わせ3～6ヶ月の範囲で研修可能です。

施設所在地の概要

旭川市の概要

旭川市は、北海道のほぼ中央に位置し、雄大な大雪山系の山々を望み、石狩川をはじめとする多くの河川が流れ、明瞭な四季が織りなす自然と医療、福祉、教育、文化などの都市機能が調和する北北海道の拠点都市です。

旭川市の特徴

就航率99%を誇る旭川空港を有し、行動展示で有名になった旭山動物園をはじめパウダースノーが楽しめるスキー場が市街地の近隣にいくつもあるなど観光資源に恵まれた街です。

産業では道内トップクラスの作付面積と生産量を誇る米どころです。また、かつて「北海の灘」と呼ばれた男山、高砂酒造、合同酒精（大雪乃蔵）の3つの蔵元のある酒どころでもあります。その他にも、120年余りの歴史がある旭川家具は、近年では優れた機能性やデザインで高い評価を受け、世界に知られるブランドに成長しています。



旭山動物園

指導医から一言

初期臨床研修でいろいろな科をローテーションし、どの科でも興味深く有意義な研修期間を過ごしたけれど、進路をどうしようかと考えた時になかなか一つに決められないあなた！優柔不断のようですが、実はとても欲張りなのです。そんな方こそ総合診療にうってつけなのです。ここ旭川では、そのような総合診療医が不足しています。満たされていないニーズを察知し、対応する能力は総合診療医に求められる資質です。私たちと一緒に、ここ旭川でパイオニアとして活躍しませんか？

北の恵み食べマルシェ
(9月開催)

旭橋